

地籍調査支援システム

WEB 閲覧サービス向け

データ出力



株式会社 上智

① 概要

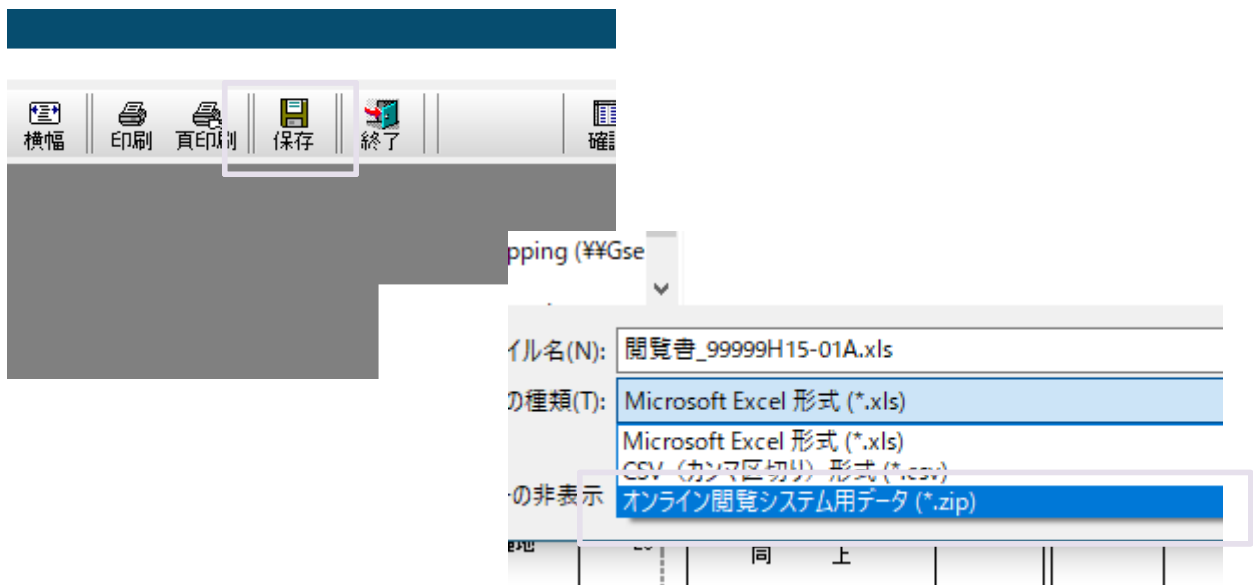
本説明書では、事務支援システムの閲覧情報、測量支援システムの地図情報から、地籍調査 WEB 閲覧サービスに登録する、標準的なデータ作成方法について説明します。それぞれの操作についての詳細な説明は、各システムの操作説明書の対応箇所を記載箇所を参照してください。

② 閲覧情報の出力（事務支援システム）

- 作業工程 より 閲覧認証書類作成 → 閲覧書
- メニューバー より 『調査後帳票』→『閲覧書』

ここから、閲覧書作成（印刷準備）します。

閲覧書の印刷プレビューが表示されたら【保存】ボタンを押して下さい。



ファイルの種類として【オンライン閲覧システム用データ】を選び、保存します。

保存されたデータは、ZIP 形式で、印刷対象データが全て保存されています。

対応する操作説明書

事務支援システム 第7章 3. 3 閲覧書 （ページ番号 7-3-9）

③ 全域地図データの出力（測量支援システム）

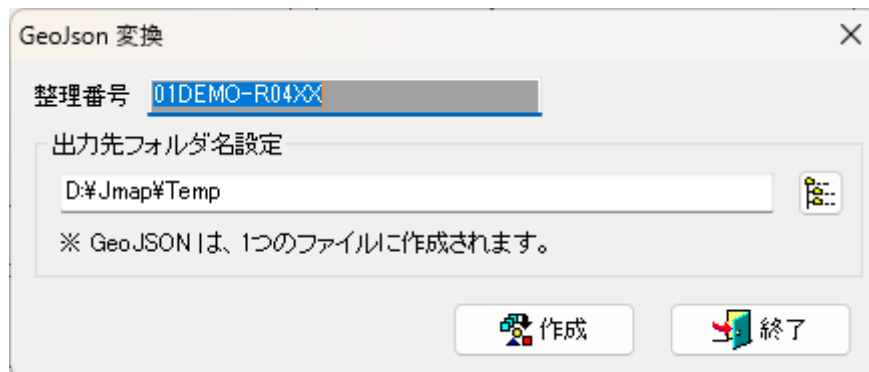
○ GEOJSON の出力

地図データを出力する整理番号を開きます。

メニューバーより『データ管理』→『エクスポート 基図データ』→
『GeoJSON フォーマット』



範囲指定方法を『現在の整理番号全範囲』を選んで『確定』



GeoJSON ファイルの出力先フォルダを設定します。

『作成』ボタンでファイルの作成を開始します。ファイル名は整理番号になります。

対応する操作説明書

測量支援システム 第13章 X GeoJSON フォーマットデータ（ページ番号 14-52）

④ 一筆図形の一括作成（測量支援システム）

○ 一筆図形用図枠作成と図面データ作成

メニューバーより『作図』→『一筆図形 図面作成と成果図を開く』

または『作図』→『図面保守』→『一筆図形用 図面作成...』

ここから一括で図枠を作成し、図面データの作成を行います。



1. 作成する図枠の大字・字・図面名をチェックします。
2. 『図枠作成』→『一括作成』を押してオプションを選択し、『確定』ボタンを押すと図枠が自動で作成されます。
3. 『成果図を開く』→『一括自動配置』を押して作図様式の選択をします。
4. 『新規作成』ボタンで作図様式を作成し『確定』を押して次へ
5. 部品設定を行い、設定が終わりましたら『完了』ボタンを押します。
その後チェックした図面が自動で作成されます。

○ 一括印刷

作成した成果図画面から、コマンドパネルの『印刷・出力』→『成果図データ 一括印刷』



プリンター名を PDF 出力用のソフトウェアに変更し、用紙の設定を行ってください。
続けて、印刷オプションで以下をチェックします。

- ☒ 印刷ジョブ名にWeb閲覧サービス名を使用
 - ☒ PDF印刷ダイアログを自動処理(2枚目～)

・『印刷ジョブ名に Web 閲覧サービス名を使用』

PDF の保存名を Web 閲覧サービスに対応した名称(大字-小字-地番)を自動で入力します。

※ 『Microsoft Print to PDF』は、ファイル名が空白になってしまうため、対応していません。

・『PDF 印刷ダイアログを自動処理(2 枚目～)』

PDF の 1 枚目を手動で保存し、2 枚目以降は同一フォルダに自動保存することが可能です。

※ 本機能は動作保証対象外の機能になっています。

動作が止まることがあるので、定期的にご確認ください。

止まりましたら、もう一度手動で保存することで自動保存が開始します。

『OK』を押すと PDF の一括作成が開始されます。

対応する操作説明書

測量支援システム 第 10 章 II-2-11 一筆図形の図面枠作成と自動配置

(ページ番号 10-14)

測量支援システム 第 10 章 III-6-5 プリンタドライバで印刷する(一括印刷)

(ページ番号 10-81)



GEOIST 地籍システム サポート窓口

■受付時間

平日 午前 9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

午後 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

(土曜・日曜・祝日及び年末年始等、弊社の休日は除く)

■お問い合わせ窓口

TEL : (0763) 32-2135

FAX : (0763) 33-2558

URL : <https://www.johchi.co.jp/geoist/>